

東京都のLED電球への交換事業の現場を体験

◆東京都による白熱電球からLED電球への交換事業が始まる

2017年7月10日、東京都による白熱電球のLED電球への交換がスタートした。正式には「家庭におけるLED省エネムーブメント促進事業」という17年度末までの事業であるが、予定数に達した時点で終了する。18歳以上の都民一人に対し白熱電球2個をLED電球1個に無償で交換するもので、小池知事の肝いり事業である。60W電球2個で100W程の省電力になる計算で、都では100万個準備しており、全て交換が進めば、約10万kWの節電となり、小型の火力発電1基分に相当する。都の試算では、年間23.4億円の電気料金削減（LED交換一個当たり2,340円）と、4.4億トンのCO₂削減となる。また都民の省エネ意識の向上を期待している。

◆交換事業の実態は？：電球の交換を体験してみた

まずは都のホームページで事業の詳細を確認し、7月末に交換に行ってみた。

白熱電球は40W相当以上でA型と指定されている。A型とはナスビのような普通の型のもので、球型や、シャンデリアなどで使用される尖った形のもの是对象外だ。交換してくれる店は地域の電気店や電気工事店などで、いわゆる大型店是对象外であり、地域振興という意味もあるようだ。近くの電気店に電球2個を持参すると、店員がソケットに差し込んで球切れしていないか確認した。LED電球は40W型や60W型、電球色や昼光色、サイズなどを選択できる。メーカーは東芝とオーム電機だった。オーム電機は池袋が本社の中小的照明器具メーカーで、東芝も含め都の企業を援助する意図が見える。書類に名前、住所などを記入し、免許証などで本人確認が行われる。その際に二重申請のチェックは特になかったが、後で調べて不正が分かれば料金が請求されるようだ。お店の人からLED電球に交換することでいかに省エネ効果があるかの冊子を渡されて終了した。

今回の事業でLED電球への転換効果が広く知られ、LED化がさらに進むことが期待される。ただ都民の中でこの事業はあまり知られていないという話と、都が考える以上にLEDや電球型蛍光灯に交換が進んでいるという見方の双方の意見があり、どの程度交換が進み、省エネ意識向上につながるか注目される。【松田英樹】